

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	臍帯付着部異常と前期破水の関連に関する検討		
1. 研究の目的と方法	【目的】臍の緒と胎盤の付着部と破水の関連性を検討することで、妊婦健診で破水のリスクが高い妊婦さんを見つけることを目的としています。 【方法】2018年から2023年に当院で分娩した単胎妊婦さん（お腹に1人の赤ちゃんを育てている状態の妊婦さんのことです）を対象に、分娩後の胎盤を評価して臍の緒の付着部位を観察します。付着部の位置により、正常群、辺縁群（胎盤の端から臍の緒が出ている状態）、卵膜群（胎盤からではなく、卵膜と呼ばれる膜から臍の緒が出ている状態）に分類します。それぞれのカルテを確認し、陣痛発来前に破水が起きた率を検証します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2018 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までに東京慈恵会医科大学附属病院で分娩した単胎妊婦の方で、18 歳以上の方が対象です。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料の使用はありません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないためありません。	
	(3) 情報の種類	患者基本情報（年齢、身長・体重、BMI、分娩時の体重、妊娠回数、分娩回数、妊娠前の喫煙歴、妊娠前の BMI、体重増加量、妊娠中の喫煙歴、早産回数、早産既往歴、既往歴、妊娠中の合併症、アレルギー歴） 出生児の情報（出生児の性別、アプガースコア、臍帯動脈血ガス、新生児集中治療室入院有無、胎児発育不全の有無、出生体重、新生児検査所見） 妊娠情報（妊娠方法、分娩時妊娠週数、分娩方法、早産の有無、早産の原因、臍帯付着部位、分娩時出血量、胎盤の大きさ・性状、入院理由） 周産期合併症（自然陣痛発来、前期破水、常位胎盤早期剥離、胎盤位置異常、胎児機能不全、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、母体感染症、胎児奇形）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座
		氏名	岡本 愛光

	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じです。
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025 年 5 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 研究責任者：主任教授 岡本 愛光（おかもと あいこう） 窓口担当者：助教 磯 勇翔（いそ はやと） 電話番号：03-3433-1111(内線 3521) 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。